

令和 7 年 12 月 1 日 発行

発行人 中川英二
編集人 五味律子
五進真美
馬場峻平
島上誠

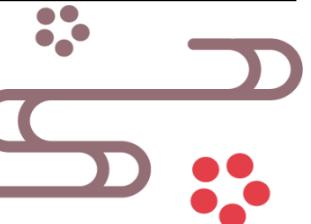
梨臨技ニュース

事務所 山梨県立中央病院
 〒400-8506 甲府市富士見 1-1-1
 ☎ 055-253-7111 FAX 055-253-9923 □ : <http://riringi.jp>

No.466



祝 大澤監事 山梨県政功績者表彰 授章



このたび、山梨県臨床検査技師会 監事 大澤智彦様が、山梨県政功績者表彰を授章されました。長年にわたり県政発展ならびに地域医療の向上にご尽力された功績が高く評価されたものです。ここに謹んでご授章をお祝い申し上げ、今後さらにご健勝ご活躍を祈念いたします。



「山梨県政功績者表彰」を授章して

韮崎市立病院 大澤 智彦

県政功績者表彰を授章できましたこと、身に余る光栄と感謝申し上げます。

11月4日山梨県庁より「県政功績者表彰の授章が決まりました」と電話が入りました。翌日、速達で11月20日アピオでの授賞式の案内を頂戴しました。11月20日、同伴者の妻と授賞式に臨みました。厳かな雰囲気で、個人写真を撮る状況ではありませんでした。受賞者には、市川和紙の厚い表彰状と純銀金メダルの縁取りで、中に水晶で山梨県のシンボルマークがあり吉田の織物で作られた首掛けのメダルと「功」の字入り胸章を頂戴しました。

思い返せば、昭和61年26歳で地区理事となり4年、その後臨床化学研究班長となり、学術部長・副部長を歴任し、平成18年より副会長を拝命し、平成24年から8年間会長を務めて、現在監事の職にあります。会長職を務めていた時は、日臨技理事・関甲信支部長を6年併任し、病院待機当番やサッカー少年団指導者等で休日はほぼなかったことを思い出します。

泉郷セミナーの立ち上げ、検査室改革セミナーの立ち上げ、臨床検査フォーラムの立ち上げ等、様々な企画を立案開催し、支部学会も開催でき、最後に全国初となる「災害時の避難所における臨床検査技師の派遣」という協定を県と締結できたことは、感無量でありました。更に、皆様と共に訓練をできましたこと、心強い思いがありました。

授章できましたのは、先人のご指導ご鞭撻と執行部のご理解ご協力、会員諸氏の行動力と当院検査科同僚のご理解ご協力のおかげと深謝しております。

臨床検査技師の授章という道は拓けましたので、後進の励みとなり、更に受賞者が増えていくことを期待してやみません。

結びに、会の益々のご発展と、会員諸氏のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。
本当にありがとうございました。

令和7年11月吉日

【お知らせ】

会報の未着について（メールアドレス確認のお願い！！）

会員の皆様へ

日頃より技師会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて山梨県臨床検査技師会では今年度より会報の紙面充実と送料経費削減の為、配布を取りやめ、日臨技システムを活用したメール配信に切り替えました。

毎月月初めに送付しております「会報」について、一部の会員の方で登録されているメールアドレスの不具合により、会報が届いていない事例が確認されております。

つきましては、以下の点についてご協力をお願いいたします。

1.メールアドレスの確認

日臨技システムを活用したメール配信は、個人や連絡責任者宛てなどの連絡でも活用していますので、再度メールが届いているのかご確認お願い致します。

2.会報メールが届いていない方へ

大変お手数ですが、メールアドレスの変更や日臨技に確認をお願いします。

3.周囲の会員の方への確認のお願い

同じ施設・部署等で活動されている会員の皆様に、「会報メールが届いているか」声掛けをしていただけますと大変助かります。

未着の方がいらっしゃいましたら、上記の通りメールアドレスの修正等をお伝えいただければ幸いです。

会員の皆様に迅速かつ確実に会報をお届けするため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

山梨県臨床検査技師会

学術講習会

【日 時】2026年1月17日（土）

受付時間：13:30～14:00 講演時間：14:00～16:00（開会～閉会式まで）

【会 場】生涯学習センターIF（市川三郷町）

【内 容】テーマ：県内における精神疾患について

演題名：治療抵抗性統合失調症の薬物治療 講師名：三澤 史斎 先生（県立北病院）

【生涯教育点数】基礎：20点

【申込方法】日臨技HPよりお申込みください

【申込期間】2025年11月1日～2026年1月5日

【参加費】会員：無料

【募集人数】50名（先着順）

【懇親会】無

※開催時期が季節性の感染症が懸念される為、懇親会は実施せず、「手土産」という形を執る予定です。

検査と健康展のご案内

【開催日時】2025年12月7日（日）10時～13時

【会 場】小江戸甲府花小路 こうふ亀屋座

【主 催】一社）山梨県臨床検査技師会 一社）日本臨床衛生検査技師会

【共 催】一社）日本臨床検査専門医会 一社）日本臨床検査振興協議会

【内 容】

① 高校生臨床検査技師体験

*研究班企画：超音波検査研究班、輸血検査研究班、若梨部

*検体採取、模擬採血

*保護者向け進路相談会

② 一般来館者検査企画

血管年齢、骨密度測定、検査専門医による健康相談

今年は場所を変えて、新たな健康展を開催します
甲府の新しい観光スポットに是非お立ち寄りください

検査と健康展

甲府市立文化会館
in こうふ 亀屋座

日 時 2025年12月7日 (日)
10時～13時 検査受付締切 12:50

会 場
甲府市丸の内1丁目11-5
小江戸甲府花小路
こうふ 亀屋座

事前登録
中学生・高校生
事前登録



血管年齢
血管年齢は、心臓血管の年齢を示す指標で、通常の年齢よりも年齢が進んでる場合は、血管年齢が高くなる。血管年齢が高いほど、心臓病や脳卒中のリスクが高くなる。

血管年齢



健康相談



骨密度測定

中・高校生
事前登録制

臨床検査技師体験



保護者説明会
事前登録制

検査無料

皆様のご参加を
お待ちしております



主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人 山梨県臨床検査技師会
共催：一般社団法人 日本臨床検査専門医会
一般社団法人 日本臨床検査振興協議会

後援：厚生労働省 山梨県 山梨県教育委員会
公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 日本看護協会
一般社団法人 日本病院会 公益社団法人 全日本病院協会
一般社団法人 日本臨床検査医学会
一般社団法人 日本臨床検査業者連合会
一般社団法人 日本衛生検査所協会

第13回山梨臨床検査フォーラムのご案内（第1報）

【日 時】2026年1月24日（土曜日）14：00～受付

【場 所】ホテル春日居

【参加研究班】臨床化学検査研究班、血液検査研究班、免疫血清検査研究班、一般検査研究班、
生理検査研究班、輸血検査研究班、超音波検査研究班、微生物検査研究班/研究班公衆衛生研究班

➢ 研修会内容

・超音波検査研究班

会場 セレス 時間 14：30～16：00

「乳房超音波検査を深めよう-JABTS 乳房超音波診断ガイドラインに準じて-」

講師：新津 好江（甲府共立病院）

・臨床化学検査研究班

会場 凤凰2 時間 14：30～16：00

「血液ガスの基本(仮)」 講師：未定

「分析装置から異常データを読み解く(仮)」

講師：(富士フィルム和光純薬株式会社)

・微生物検査研究班/公衆衛生研究班

会場 凤凰3 時間 14：30～16：00

テーマ：医療機関と行政との連携～保健所や県庁、衛生環境研究所で行っている業務について～

「感染症法と行政検査について(仮)」

講師：大木 翔平（峡南保健所）

「山梨県におけるA群溶血性レンサ球菌感染症入院例の疫学的特徴について/実地疫学専門家(FETP)について(仮)」

講師：大沼 恵（山梨県感染症対策センター）

「山梨県内における下水サーベイランス（下水疫学調査）実施状況」

講師：柳本 恵太（衛生環境研究所）

「新たに始まった感染症発生動向調査（急性呼吸器感染症）について」

講師：大沼 正行（衛生環境研究所）

・一般検査研究班

会場 胡蝶 時間 14：30～16：00

「未定」 講師：未定

・血液検査研究班

会場 鳳凰 1 時間 16:15～17:45

「二級臨床検査士（血液学）を目指す人へ～フォトサーベイを中心に～（仮）」

講師：血液検査研究班員

「凝固検査に影響を与える薬剤」

講師：服部 和久（積水メディカル株式会社 学術企画グループ）

・免疫血清検査研究班

会場 鳳凰 2 時間 16:15～17:45

「甲状腺の基礎（仮）」 講師：（富士フィルム和光純薬株式会社）

「甲状腺の症例報告（仮）」 講師：坂下 智紀（山梨県立中央病院）

「肝疾患診療向上の為のアンケート結果報告」 講師：深澤春奈（加納岩総合病院）

・生理検査研究班

会場 鳳凰 3 時間 16:15～17:45

「あらためて確認しよう！心電図検査の基礎と取り方のコツ（仮）」

講師：丸山 みさき（甲府共立診療所）

「ホルタ解析の基本から判読のポイント」

講師：（フクダ電子）

・輸血検査研究班

会場 胡蝶 時間 16:15～17:45

「未定」 講師：未定

	セレス	鳳凰 1	鳳凰 2	鳳凰 3	胡蝶
14:30～16:00	超音波検査 研究班		臨床化学 検査研究班	微生物検査/ 公衆衛生 研究班	一般検査 研究班
16:15～17:45		血液検査 研究班	免疫血清検査 研究班	生理検査 研究班	輸血検査 研究班

事前参加登録は不要です。

皆様のご来場をお待ちしております。

例年、日曜日に研究班企画を行っていましたが、今回は土曜日に開催いたしますので
ご注意ください。

また、翌日の 25 日（日）は災害対策研修会（別途案内あり）が開催されます。

こちらの研修会にも是非ご参加ください。

災害対策研修会のご案内（山梨臨床検査フォーラム 2日目）

【日 時】令和8年1月25日（日）

【場 所】ホテル春日居 1Fセレス

【参加費】無料

【受 付】8:30～8:50

【プログラム】（予定）

9:00～9:30 「山梨県における災害医療（仮）」 講師：未定

9:40～10:10 「避難所における弾性ストッキングの使用と下肢静脈エコー検査」

講師：盛岡市立病院医療支援部臨床検査 千葉 寛先生

10:30～12:30 「災害対策訓練：避難所における弾性ストッキングの使用と下肢静脈エコー検査」

講師：同上

タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催について（通知）

第6回タスクシフトシェア実技講習会を開催いたします。今回を持ちまして山梨県内の開催は最後となりますのでご受講をよろしくお願い申し上げます。

【日 時】 **令和8年2月23日（月・祝）**

【講習会場】 山梨県立大学池田キャンパス

〒400-0062 山梨県甲府市池田1丁目6-1

【申込期間】 **令和7年12月20日～令和8年1月23日まで**

【注意事項】 参加費について

開催日の20日前：払込票（コンビニまたは郵便局）の支払い選択の締切

開催日の10日前：クレジット決済および払込票の支払期限

【参加資格】 臨床検査技師免許取得者

【受講料】 会員 15,000円 非会員 40,000円（資料代含む）

【申込方法】 日臨技HPの「指定講習会専用ページ」からお申し込みください。

【問い合わせ】 〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7

一般社団法人 日本臨床検査技師会

タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当

TEL: 03-5767-5541 E-mail: task-shift2@jamt.or.jp

第32回日臨技関甲信支部・首都圏支部合同 「臨床化学検査研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 関甲信・首都圏支部

実務担当技師会：(一社)群馬県臨床検査技師会

【テーマ】精度管理の意識改革

【日 時】2026年1月25日（日）12:30～17:30

【場 所】WEB開催（ZOOM使用）

【定 員】300名（先着順）

【受講料】会員 1500円、賛助会員 1500円、非会員 5000円

【生涯学習】専門教科 20点

（認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師指定研修会 申請予定）

【日 程】

12:00～12:30 受付（ZOOM開録）

12:30～12:40 開講式

12:40～14:10 講演①「精度保証のためのコスト管理」

講師：一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター 神山 清志

（指定研修会 A／5単位）

14:10～14:20 休憩

14:20～15:50 講演②パネルディスカッション

「外部精度管理関連で困っていることについて話し合おう」

パネリスト：桐生厚生総合病院 高田 剛

越谷市立病院 杉村 楓

杏林大学医学部付属病院 石井 隆浩

横浜市立大学附属市民総合医療センター 村上 直樹

（指定研修会 B／5単位）

15:50～16:00 休憩

16:00～17:00 講演③

「R-CPC～データを読む力を持つために～」

講師：群馬大学医学部附属病院検査部 部長 常川 勝彦

（指定研修会 C／5単位）

17:10～ 閉講式

【申し込み方法】

日臨技会員専用ページの「事前参加申し込み」より本研修会を選択し事前参加申し込みを行ってください。メールによる連絡を行いますので PC メールアドレスを必ず入力してください。

賛助会員、非会員のみ PC メールでの参加申請を受け付けます。氏名、会員番号（会員の場合）、

施設名、電話番号、連絡先住所・郵便番号、PC メールアドレスを明記の上、下記の研修会事務局まで送付してください。

申込期限後に受領の返信がない場合は再度ご連絡をお願いします。

【申込期限】 2026 年 1 月 16 日 (金)

【参加費の振込】

日臨技会員の方は事前参加申請後、クレジットカード決済をお済ませいただきますようお願いいたします。賛助会員、非会員の方に関しては、別途メールにてご案内いたします。

【ZOOM 参加方法】

事前参加登録いただいた方に後日メールにて ZOOM 参加用のアドレスとミーティング ID, パスコードをお送りいたします。当日はアドレスもしくは ZOOM のホームページ又はアプリから「ミーティングに参加する」を選んでいただき、必要に応じて ID, パスコードをご入力いただいて参加をお願い致します。

【研修会事務局】

住所：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-15

施設：群馬大学医学部附属病院 検査部 担当：下田 望未

TEL : 027-220-8554 FAX : 027-220-8574 E-mail : nozomi@gunma-u.ac.jp

令和 7 年度 日臨技首都圏支部・関甲信支部研修会

「第 24 回首都圏・関甲信支部遺伝子・染色体検査セミナー」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 首都圏支部

実務担当技師会：千葉県臨床検査技師会

【テーマ】 「ミクロからマクロまで拡大する遺伝子関連検査の世界」

【日 時】 令和 8 年 2 月 7 日 (土) 11:00～17:00

【場 所】 〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1

文京学院大学本郷キャンパス S504

【定 員】 100 名

【受講料】 一般・賛助会員 3,000 円 非会員 5,000 円 学生 1,000 円

【日 程】

11:00 受付 *会場で昼食を取ることは可能ですが、ゴミはお持ち帰り下さい。

11:50 開講式／オリエンテーション

*** 基礎編 ***

12:00～12:45 基礎講演 1 『遺伝子検査の基礎』

講師：千葉大学医学部附属病院 今泉 優理 先生

12:45～12:50 休憩

12:50～13:35 基礎講演 2 『染色体検査の基礎』

講師：日本大学医学部附属板橋病院 田辺 大輔 先生

13:35～13:40 休憩

13:40～14:25 基礎講演 3 『NGS 検査の基礎と難病の遺伝子検査』

講師：かずさ DNA 研究所 京都 敬祐 先生

14:25～14:40 休憩

*** 応用編 ***

14:40～15:40 教育講演 『造血器腫瘍遺伝子検査の最前線』

講師：国立がん研究センター中央病院 松井 啓隆 先生

15:40～15:50 休憩

15:50～16:50 特別講演

『ウイルス感染症のフロントラインに魅せられて —ウイルス・ハンティングから
パンデミック対応研究まで—』

講師：千葉大学医学部附属病院 井戸 栄治 先生

16:50～17:00 閉講式

【申込方法】

日臨技ホームページ(<https://www.jamt.or.jp/>)の会員専用ページから事前参加申込を行ってください。

行事名称 「第 24 回首都圏支部・関甲信支部遺伝子・染色体検査セミナー」

賛助会員、非会員、学生の方は、氏名、所属、区分（賛助会員/非会員/学生）、

件名「第 24 回首都圏支部・関甲信支部遺伝子・染色体検査セミナーへの参加」を記載の上、

研修会事務局 (tishige@kazusa.or.jp) へ E-mail でお申し込みください。

【受講料支払い方法】

受講料は事前参加申込時にクレジットカード決済となります。

諸事情によりクレジットカード決済が難しい方は、下記研修会事務局までお問合せください。

*お支払いいただいた受講料は返金できませんのでご注意ください。

【申込期限】 令和 8 年 1 月 9 日（金）

【研修会事務局】

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-6-7

かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部 石毛崇之

TEL: 0438-52-3500 E-mail: tishige@kazusa.or.jp

【ご報告】

やまなし肝ぞうデー2025 フィブロスキャン検査に参加して

市立甲府病院 輿水 佑希

令和7年11月16日（日）イオンモール甲府昭和内さくら広場にて「やまなし肝ぞうデー2025」が開催されました。当技師会は協賛として参加し、超音波研究班の協力を得て、肝硬度・脂肪量測定（フィブロスキャン）を行いました。

私は今回のイベントで検査技師として来場者の方々にフィブロスキャン検査を行い、健康診断だけでは知り得ない自身の肝臓の健康状態を理解する手助けをできたことを大変嬉しく思います。また、会場ではInBody体験やクイズ大会、ゲームなど楽しみながら健康に関する学びを深めるプログラムが用意されており、健康に興味を持つきっかけとなる良い機会だと思いました。今後も地域社会への貢献のために、こうした活動に積極的に参加していきたいです。

最後に、本イベントにご協力いただいたイベントスタッフの方々、他院の検査技師の方々に深く感謝いたします。



令和7年度 第5回定期部局長会議 第2回定期理事会 議事録

日時：令和7年10月16日（木）18:30～20:00

場所：山梨県立中央病院 2F 会議室2

開会の言葉

河合副会長の挨拶にて、18:30より開会

支部学会お疲れ様でした。大きなトラブルもなく無事終えることができました

これから、医師会サーベイや他のイベント等もありますので、引き続きご協力お願いします

会長あいさつ

- ・支部学会お疲れさまでした。お疲れかと思いますが、学会終了後もいくつもイベントがあります
ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします

- ・タスクシフト／シェア研修会を開催予定ですが、県内の開催は最後となります。まだ研修会を修了していない方はご参加ください。

議題

(1) 渉外部より

●検査と健康展について *松山渉外部長より

各高校には案内を出した。中学校への案内は通常通りではできず、難航している。

→中学校には案内を送らず、webでの掲載を検討する

またボランティアが足りていない。期日を決めて募集をして、それでも足りないようなら部局長や理事の方にも協力してもらう

●山梨肝臓デーについて *堀田副渉外部長より

日時：2025年11月16日（土）

会場：山梨大学

ボランティア（8名）は集まったことと、当日の開催内容について報告された

●献血キャンペーンについて *松山渉外部長より

日時：2026年1～2月開催予定

今回は峡東・峡北地区理事に協力してもらう

(2) 広報部より *五味広報部長より

支部学会関係の写真をまとめている。写真が欲しい方は連絡ください

(3) 情報管理部より *古屋情報管理部長より

●Zoom 更新について

契約が2025年12月30日できる。更新料は23,935円

→契約更新することが承認された

●PCリースについて

リース契約したPC4台が導入された（事務局長・庶務部長・会計・学術部用）

現在は事務局である県中にすべてのPCがあることを報告された

(4) 学術部より

●医師会サーベイについて

10月22日に実施予定であることを報告された

●検査フォーラムについて

後期班長会議時に議題として開催内容など各研究班と話し合う予定

(5) 組織部より *古屋組織部長より

●タスクシフト/シェア実技講習会について

日程：2026年2月22or23日開催予定

→協議の結果、2月23日（月）に開催が決定した

●災害対策について

- ・災害時マニュアルの改訂を行っているが、複雑な部分もあり見直しは難航している
- ・検査フォーラムで災害対策訓練を計画している。当日は講義・実技を実施することで検討する。
詳細な内容や時間配分については検討中

(6) 事務局より

●会員入退会状況 *渡邊庶務部長より

2025.8.2～2025.10.16 現在 技師全会員数 518名

入会4名 退会0名：他都道府県移動0名

→承認された

●第2回拡大理事会について *前島事務局長より

日時：2025年12月12日に開催されることが決定した

→会場等、詳細が決まり次第報告する

(7) その他

●峡東・峡北地区理事より地区会開催について *前島事務局長より

各地区理事より地区会開催にあたり、内容（活動報告・地区理事役割・次期役員決めなど）について報告された

→承認された

●リフレッシュ研修会について *郡内地区理事より

リフレッシュ研修会の開催内容について報告された

日時：2025年12月20日（土） 14:00～（受付）

場所：都留ファミリーボウル

→承認された

●学術講習会について *峡南地区理事より

学術講習会の開催内容について報告された

日時：2026年1月17日（土） 14:00～

場所：生涯学習センター（市川三郷町）

→承認された

●支部学会について *山口副会長より
支部学会の当日参加の収入内容について報告された

●選挙管理委員会について *中川会長より
10月14日に開催された内容について報告された

●日臨技理事会について *多田理事より
2025年9月27, 28日に開催された理事会の内容について報告された

閉会の言葉

小川副会長より閉会の言葉をいただき 20:00 に閉会となった。
支部学会おつかれさまでした。一息ついていただいているところかと思いますが、これから他のイベントが多数あるので、ご協力お願いします

梨臨技 Q&A ~ 超音波研究班 ~

Q NAFLD/NASH から MASLD/MASH に名称変更！(2024.8月～)
注目されている MASLD と超音波検査の関係は？

A 肝臓がんの主な原因是、B型・C型肝炎ウイルスでしたが、治療法の進歩によりウイルス性肝炎は制御可能になりつつあります。それに代わって、現在では MASH が肝臓がんの主要な原因として急速に増加しています。

超音波検査では、視覚的に判断していた肝臓の硬さや脂肪化が、せん断波や減衰係数を用いて組織の硬さや脂肪量を定量化(半定量化)し、その分布を画像化する技術が開発され、活躍しています。
肝硬度測定には SWV や SWE、VTQ など超音波装置でそれぞれ名称が違いますが、せん断波の伝搬速度をもとに、組織の硬さを数値化しています。

薬事承認または認証を得ている超音波検査装置を使用することで、診療報酬点数 200 点が算定可能です。フィブロスキヤンはないけれど、SWV なら超音波装置に搭載されているとゆう病院の方！積極的に使用し、患者様の肝臓のために検査していきましょう！

